

デジタル時代の著作権協議会（CCD）
平成24年度著作権ビジネス研究会事業計画

平成14年度から実施している、デジタル化、ネットワーク化時代にふさわしい著作権及び著作隣接権の契約や流通のあり方について検討を継続して行う。

昨年度に引き続き、各団体における権利情報や各IDの整備などの事例紹介を行う一方、昨今の著しいネットワーク化の進歩に伴う権利処理実務の進捗に関する情報の取得につとめ、映像コンテンツを含む権利情報の共有化に向け実体を確認しつつ、データの整備をめざし検討を継続するとともに、権利情報公開のあり方について検討を行う。

平成19年度より検討を行っている共通したデータベース作成基準（ガイドライン）については、一昨年度実施したアンケートの集計結果をもとに、拡充に向けた検討を行う。

また、経団連コンテンツポータルサイト（ジャパン・コンテンツショーケース）や「著作権問題を考える創作者団体協議会」の「創作者団体ポータルサイト」との連携により、実務的な検討を継続して行う。

【主な検討課題】

- ・ 映像コンテンツ情報を含む権利情報共有化の実体確認
- ・ 権利情報公開のあり方について
- ・ データベースの公開・連携にあたっての「ガイドライン」策定
- ・ その他

以上